

歯科補綴学2

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～②の平均：50%)、および実習 (5回の実習評価：50%) の合計。講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	前学期	會田 雅啓 (クラウンブリッジ補綴学)

学習ユニット 学習目標 (G I O)	学則科目 (歯科補綴学2) の学習目標に準ずる。
担当教員	會田 雅啓、小林 平、若見 昌信、大村 祐史、田中 孝明、後藤 治彦、青木 直子、内堀 聡史、※増田 美樹子、※渡辺 官
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座
参考図書	クラウンブリッジテクニック 石橋寛二ほか 医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか 医歯薬出版 歯科補綴学専門用語集 第3版 (社法) 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 第4版 鈴木一臣ほか 学建書院
実習器材	保証人宛に通知済み
評価方法 (E V)	学則科目 (歯科補綴学2) の評価方法に準ずる。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。ブリッジの製作法を通じて、適合の良いブリッジを製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p>【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に活用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。ブリッジの作製過程および手技を学習し、臨床に活用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものであるため、進んで学習し実習を行うこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	<p>【授業の一般目標】 ブリッジの診断から装着までの診療の流れについて理解する。 ブリッジの臨床的意義と重要性について理解する。 ブリッジの種類と特徴を理解する。 ブリッジの適応症を理解する。 ブリッジの支台装置の種類と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジの診断から装着までの診療の流れを述べることができる。 2. ブリッジの臨床的意義と重要性について説明できる。 3. ブリッジの種類と特徴を述べることができる。 4. ブリッジの適応症を述べることができる。 5. ブリッジの支台装置の種類と特徴を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジの診査・診断から装着までに過程を学ぶ。 ブリッジの種類と特徴、適応症について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 イ ブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2014/04/04 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 目的に適応した個人トレーを製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 個人トレーの目的について学ぶ。 目的に適応した個人トレーの製作手順を学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/04/04 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 目的に適応した個人トレーを製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 個人トレーの目的について学ぶ。 目的に適応した個人トレーの製作手順を学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/04/11 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有髄歯の特徴を述べることができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。</p>	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの支台歯形成	<p>3. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジの支台歯形成において必要な麻酔の知識と有髄歯支台歯形成の手順について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	若見 昌信
2014/04/11 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性と方法について理解する。 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 2. 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 3. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。</p> <p>【準備学習項目】 各種支台装置の支台歯形態について学ぶ 平行測定の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ②形成部位に応じて適切な支台歯形成用のパリの選択ができる。 ③適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/04/11 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性と方法について理解する。 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 2. 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 3. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。</p> <p>【準備学習項目】 各種支台装置の支台歯形態について学ぶ</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの支台歯形成	<p>平行測定の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ②形成部位に応じて適切な支台歯形成用のバーの選択ができる。 ③適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官</p>
2014/04/18 (金) 2時限 10:40～12:10	プロビジョナルレストレーション	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの目的について述べるができる。 2. プロビジョナルレストレーションの要件について述べるができる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 4. 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作法、要件、使用器具について学ぶ。 ポンティックの基底面形態について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>増田 美樹子</p>
2014/04/18 (金) 3時限 13:00～14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 3. ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 ポンティックの基底面形態について学ぶ。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/18 (金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/04/18 (金) 4時限 14:40~16:10	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 3. ポンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 ポンティックの基底面形態について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/04/25 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジの印象採得	<p>【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 正確な印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 正確な印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 精密印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p>	大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの印象採得	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	大村 祐史
2014/04/25 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの印象採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具, 方法について説明できる。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 印象材の練和ができる。 2. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 3. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し, 精密印象採得ができる。 4. 歯肉圧排ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>精密印象材の種類, 分類, 特徴, 印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 小見 昌信 若林 祐史 大村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 美樹子 堀田 樹子 渡辺 官
2014/04/25 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの印象採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具, 方法について説明できる。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 印象材の練和ができる。 2. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 3. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し, 精密印象採得ができる。 4. 歯肉圧排ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>精密印象材の種類, 分類, 特徴, 印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障</p>	會田 雅啓 小林 平 小見 昌信 若林 祐史 大村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 美樹子 堀田 樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの印象採得	害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/09 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの咬合採得	【授業の一般目標】 咬合採得に用いる材料と特徴、方法について理解する。 少数歯欠損の場合の咬合採得法について理解する。 多数歯欠損の場合の咬合採得法について理解する。 フェイスボウトランスファーの意義と方法について理解する。 チェックバイト法の意義と方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合採得に用いる材料と特徴、方法について説明できる。 2. 少数歯欠損の場合の咬合採得法について述べるができる。 3. 多数歯欠損の場合の咬合採得法について述べるができる。 4. フェイスボウトランスファーの意義と方法について説明できる。 5. チェックバイト法の意義と方法について説明できる。 【準備学習項目】 欠損歯数の違いによる咬合採得法の違いについて学ぶ。 フェイスボウトランスファー、チェックバイト法の意義と方法について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	大村 祐史
2014/05/09 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの咬合採得	【授業の一般目標】 欠損歯数の違いによって咬合採得法が異なることを理解する。 ブリッジの咬合採得は咬頭嵌合位で行うことを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 2. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 【準備学習項目】 少数歯欠損の場合に用いる咬合採得法の種類と材料について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/09 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの咬合採得	【授業の一般目標】 欠損歯数の違いによって咬合採得法が異なることを理解する。 ブリッジの咬合採得は咬頭嵌合位で行うことを理解する。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	ブリッジの咬合採得	<p>【行動目標（SBOs）】 1. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 2. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。</p> <p>【準備学習項目】 少数歯欠損の場合に用いる咬合採得法の種類と材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/16（金） 2時限 10:40～12:10	作業模型	<p>【授業の一般目標】 作業模型の重要性について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 ブリッジの作業模型の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型の重要性について説明できる。 2. ブリッジの作業模型の要件について述べるができる。 3. ブリッジの作業模型の種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 作業模型の要件と種類，特徴について学ぶ。 作業模型性製作に必要な材料及び器具について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p>	小林 平
2014/05/16（金） 3時限 13:00～14:30	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジのための歯型可撤式模型製作に必要な材料，器具，方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/16 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の製作	<p>c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/16 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2.要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3.ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジのための歯型可撤式模型製作に必要な材料, 器具, 方法について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/23 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 生体と咬合器との関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて述べるができる。 2.咬合器の種類と特徴について説明できる。 3.生体と咬合器との関係について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて学ぶ。 咬合器の種類と特徴について学ぶ。 生体と咬合器との関係について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論</p>	小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/23 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型の咬合器 付着	各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	小林 平
2014/05/23 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 【準備学習項目】 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/23 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。 【準備学習項目】 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/30 (金) 2時限	歯型の調整 ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。	増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	歯型の調整 ワックスアップ	<p>歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点について説明できる。 2. 歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 3. ろう型の要件について説明できる。 4. 解剖学的形態を図示できる。 5. ポンティック基底面形態の種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯型の調整の必要性とそれによって生じる不都合について学ぶ。 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	増田 美樹子
2014/05/30 (金) 3時限 13:00～14:30	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯型の調整の必要性とそれによって生じる不都合について学ぶ。 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/05/30 (金) 4時限 14:40～16:10	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/30 (金) 4時限 14:40~16:10	歯型の調整 ワックスアップ	<p>ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。 <p>【準備学習項目】 歯型の調整の必要性とそれによって生じる不都合について学ぶ。 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/06 (金) 2時限 10:40~12:10	第1回平常試験	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	會田 雅啓
2014/06/06 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。 <p>【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/06 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。 <p>【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/06 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ	<p>変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/13 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没 鑄造 ろう着 研磨	<p>【授業の一般目標】 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着の手順について理解する。 ろう着用のろうに性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べるができる。 2. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 研磨用機器、材料について述べるができる。 5. 一塊鑄造法とろう着法の違いについて説明できる。 6. ろう着の手順について述べるができる。 7. ろう着用のろうに性質について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件、埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料、ろう着について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】</p>	増田 美樹子
2014/06/13 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ 研磨	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ 研磨	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/06/13 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ 研磨	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックスの性質を学ぶ。 変形に少ないワックスアップの理論について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/06/20 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について理解する。 顎運動、顎路、顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造を述べることができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について説明できる。 3. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 4. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 5. フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて述べるができる。 6. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 7. 咬合様式について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節の構造、咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 2時限 10:40~12:10	顎運動 咬合器	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。</p>	田中 孝明
2014/06/20 (金) 3時限 13:00~14:30	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/20 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造	コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/06/27 (金) 2時限 10:40～12:10	下顎運動と咬合器	【授業の一般目標】 顎運動、顎路、顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎運動、顎路、顎路傾斜角について説明できる。 2. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 3. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 4. フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて述べるができる。 5. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 6. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。 【準備学習項目】 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。	田中 孝明
2014/06/27 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 3時限 13:00~14:30	埋没 鑄造	<p>1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/06/27 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/07/04 (金) 2時限 10:40~12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 ブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 治療計画の立案に必要な情報の収集できる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. ブリッジ領域における感染予防対策について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ブリッジの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策</p>	會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 2時限 10:40~12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>a スタンダードプレコーション<標準予防策></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理 (誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護)</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 イ 検査 ウ 診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 *⑥必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 *⑦患者のプライバシーに配慮できる。 *⑧患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 *⑬クラウンブリッジの設計を適切にできる。</p>	會田 雅啓
2014/07/04 (金) 3時限 13:00~14:30	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. ろう着間隙を適切に求めることができる。 2. ろう着のためのコア一採得ができる。 3. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>正しいろう着操作の手順について学ぶ。 正しいろう着間隙の付与について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/07/04 (金) 4時限 14:40~16:10	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. ろう着間隙を適切に求めることができる。 2. ろう着のためのコア一採得ができる。 3. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 4時限 14:40～16:10	ろう着用コア採得 ろう着用埋没 ろう着	正しいろう着操作の手順について学ぶ。 正しいろう着間隙の付与について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官
2014/07/11 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの口腔内試適 仮着 合着 アフターケア 不良補綴物	【授業の一般目標】 ブリッジの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。 不良補綴物が原因となる症状について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.ブリッジの口腔内試適の手順を述べるができる。 2.仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 3.合着用セメントの種類と性質について述べるができる。 4.接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5.術後管理の内容および重要性について述べるができる。 6.不良補綴物が原因となる症状について説明できる。 【準備学習項目】 ブリッジの口腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 セ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	若見 昌信
2014/07/11 (金) 3時限 13:00～14:30	ろう着用コア採得 ろう着用埋没 ろう着	【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のためのコア採得について理解する。 ろう着法の術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.ろう着間隙を適切に求めることができる。 2.ろう着のためのコア採得ができる。 3.ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4.正しいろう着操作ができる。 【準備学習項目】 正しいろう着操作の手順について学ぶ。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹 渡辺 子官

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 3時限 13:00~14:30	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	正しいろう着間隙の付与について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 村中 孝明 田後 治彦 藤中 直子 青木 聡史 内堀 美樹 増田 樹子 渡辺 官
2014/07/11 (金) 4時限 14:40~16:10	ろう着用コア一採得 ろう着用埋没 ろう着	【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ろう着間隙を適切に求めることができる。 2. ろう着のためのコア一採得ができる。 3. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 4. 正しいろう着操作ができる。 【準備学習項目】 正しいろう着操作の手順について学ぶ。 正しいろう着間隙の付与について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 村中 孝明 田後 治彦 藤中 直子 青木 聡史 内堀 美樹 増田 樹子 渡辺 官
2014/07/18 (金) 2時限 10:40~12:10	口腔インプラント学の基礎	【授業の一般目標】 口腔インプラント治療について必要な知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療の歴史を説明できる。 2. インプラント材料と生体反応を説明できる。 3. インプラントの基本小僧を説明できる。 【準備学習項目】 日本口腔インプラント学会サイトの口腔インプラント治療指針の中で行動目標に該当する項目を読む。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器	加藤 仁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/18 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔インプラント 学の基礎	1 6 歯周治療・口腔外科・インプラント材料 ア インプラント材料 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。	加藤 仁夫
2014/07/18 (金) 3時限 13:00～14:30	口腔インプラント 治療の特徴	【授業の一般目標】 インプラント治療についての必要な知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療の利点と欠点を説明できる。 2. インプラント治療の特徴、従来の補綴治療との違いを説明できる。 3. インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。 4. インプラント治療の手順を説明できる。 【準備学習項目】 日本口腔インプラント学会サイトの口腔インプラント治療指針の中で行動目標に該当する項目を読む。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ト 歯質・歯の欠損による障害の治療 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント *①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。	村上 洋
2014/07/18 (金) 4時限 14:40～16:10	口腔インプラント 治療の治療法、合併症	【授業の一般目標】 インプラント治療についての必要な知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インプラント治療に必要な診査を説明する。 2. インプラントの外科術式を説明する。 3. インプラントの補綴術式を説明する。 4. インプラント治療に関連する合併症を説明する。 5. インプラント周囲炎を説明する。 【準備学習項目】 日本口腔インプラント学会サイトの口腔インプラント治療指針の中で行動目標に該当する項目を読む。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 オ 外科処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント ③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。	玉木 大之
2014/09/12 (金) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	會田 雅啓
2014/09/12 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの調整 研磨 完成	【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/12 (金) 3時限 13:00～14:30	ブリッジの調整 研磨 完成	<ol style="list-style-type: none"> ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官
2014/09/12 (金) 4時限 14:40～16:10	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 2. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 4. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 増田 美樹子 渡辺 官